

平成30年度高校生模擬議会の記録

青森県選挙管理委員会

はじめに

近年、国政選挙、地方選挙とも投票率は低下傾向であり、特に若い世代の投票率は、他の世代に比べて低く、若者の政治参加が重要な課題となっています。

そうした中、平成27年6月に選挙権年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられ、より一層、若者に対する主権者教育の推進が求められています。

こうした状況を踏まえ、県選挙管理委員会では、これから有権者となる県内高校1、2年生を対象に、地元である青森県の課題や活性化策等を考えることにより、政治や選挙への関心を高めていただくことを目的に、平成28年度から高校生模擬議会を開催しています。

今年度は、県内高等学校3校に参加していただき、グループワークのコーディネーターに総務省主権者教育アドバイザーの藤井剛氏を迎え、各校において、平成30年7月以降、青森県の活性化策を検討するグループワークを実施しました。

そして、平成31年2月5日(火)に青森県庁で開催した模擬議会では、各校の代表生徒にお集まりいただき、県議会議員に対し、グループワークでの成果を発表し、高校生の視点から青森県の活性化策等について提案をしていただきました。

この冊子は、「平成30年度高校生模擬議会」に参加した各校のグループワークの様子や発表内容等を取りまとめたものです。

参加された高校生の皆さんには、今回の模擬議会で県政の課題等について考えた経験を活かしていただき、今後も友人等とそれぞれの地域について話し合うなどして、選挙の際には投票所へ足を運んでいただきたいと思います。

最後に、今回の模擬議会の実施に当たり、御尽力をいただいた参加各高等学校の皆様をはじめ、青森県議会及び青森県教育委員会の皆様に対しまして、深く感謝の意を表しますとともに、本冊子が今後の主権者教育に係る参考資料として御活用いただければ幸いです。

平成31年3月

青森県選挙管理委員会

目 次

I. 平成30年度高校生模擬議会の概要	1
II. 高校生模擬議会	2
1. 平成30年度高校生模擬議会参加者名簿	2
2. 各校の発表内容及び質疑応答	5
(1)八戸聖ウルスラ学院高等学校 「青森を見つめなおす ～課題&魅力探検隊～」	5
(2)青森県立八戸東高等学校 「Proactive action in Aomori」	15
(3)五所川原第一高等学校 「一高生が考える青森県の未来予想図」	25
III. グループワーク	33
1. 実施概要	33
2. グループワークの様子	34
3. アンケート結果	37
IV. 高校生模擬議会に関する一考察 (総務省主権者教育アドバイザー 藤井 剛)	39
※参考:「グループワーク」の実施手順	41